

農繁期 レポート

令和6年 7月号

バードライフファーム

オーナー バードライフ
産地 鳥取県日野郡日南町
水田面積 22.5アール
保証量 玄米1,013kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 ノータス研究所株式会社

暑中お見舞申し上げます。今年は少し梅雨が遅くなっていますがもう少いで明けそうです。稲もすくすく、日に日に成長を見せてくれています。もうすぐ稲穂が出る時期になり、害虫対策の草刈りに日々追われております。大きな災害も無く安定した実りになりそうで安堵しております。オーナーの皆様喜んで頂けるようにしっかり管理して参りますので今後も宜しくお願い致します。

7月の作業内容

1. 中干し (なかぼし)

田の水を抜いて生長を強制的に止めることを中干しといいます。土中に溜まったガスを抜いて新鮮な空気を入れ、根を地中にめぐらし健全に育てる目的と土が固めることで倒伏予防やコンバインが走りやすくなる効果もあります。

2. 間断灌水 (かんだんかんすい)

中干し後の幼穂形成期迄は3~4日掛けて水を入れ、2~3日掛けて水を抜く作業を繰り返します。土壌中に酸素を供給し根の発育を促進させるためと、穂を大きくさせる為に大量の水が必要で水は切らさないよう管理します。

3. 肥料散布 (穂肥ほごえ)

穂を发育させるための追肥。肥料の散布は基本的2回で1回目はモミの数の増やし、2回目はモミを大きくします。穂肥の量が少なければ刈取り収量が減り、多ければ窒素が残り食味を落すため施肥量の決定が難しい肥料です。

4. 電気柵の設置

年々鳥獣被害が増えてきています。電気柵の設置も早めに行うようになりました。出てくる動物の大きさにあわせて高さが変わります。鹿がでる地域は低いと飛び越えてくるので高さが必要です。

